

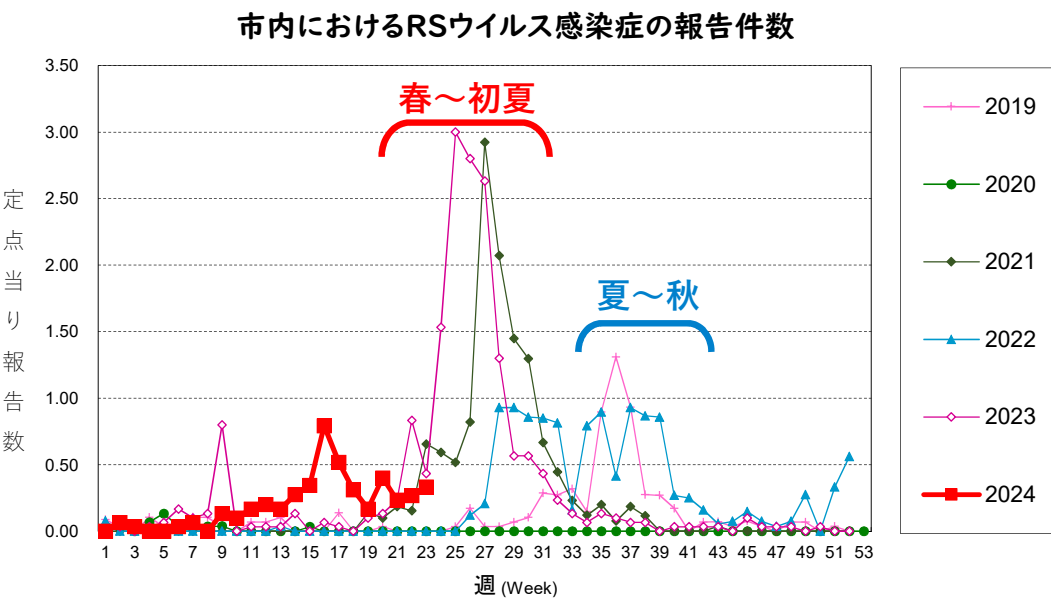
相模原市感染症情報 2024年6月



今月の注目疾患：RSウイルス感染症



RSウイルスによる呼吸器症状を引き起こす感染症で、乳幼児に多くみられます。何度も感染と発病を繰り返しますが、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ全員がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。また呼吸器系疾患の基礎疾患を有する高齢者では、急性の重症肺炎を起こす原因となることがあります。近年は夏から増加傾向となり秋にピークがみられていましたが、2021年以降は春から初夏に増加傾向となり夏にピークがみられており、動向に注意が必要です。



主な感染経路

・飛沫感染

→感染した人の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによって感染すること



・接触感染

→ウイルスが付着した手指や物品を介して感染すること



予防のために

かかってしまった場合の特別な治療法はありません。**基本的な感染対策が重要です。**

子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめに消毒し、流水・石鹼による手洗いをしましょう。鼻汁、咳などの呼吸器症状がある場合はマスクを使用することが大切です。

また60歳以上の方を対象としたワクチンがあります。予防対策の1つとしてご検討ください。



RSウイルスにはアルコールや塩素消毒が有効です！



手を洗おう



消毒しよう



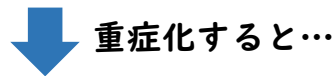
換気しよう



マスクしよう

主な症状

2～8日の潜伏期間の後、発熱・鼻汁・咳などの風邪症状



重症化すると…

ひどい咳、喘鳴、呼吸困難、細気管支炎、肺炎

※多くは数日で軽快しますが、特に生後6か月以内に初めて感染した場合は重症化しやすいといわれているので注意が必要です。



相模原市 感染症情報センター



発行：相模原市衛生研究所

★相模原市感染症情報センターでは、毎週感染症に関する情報を掲載しています